

# アスリートサポートセンター開設!

この4月より、クラブ学生を対象に、コンディショニングや医学ケアのサポート、競技力向上のサポート、身体的・心理的・栄養面等の体調管理面のサポートを目的としたアスリートサポートセンターが開設します。

- 利用方法**
- ①初診時の受付  
アスリートサポートセンターに設置されている申込書に必要事項を記入し、指導者と相談の上、指導者の所見、要望事項等を記入してもらい、問診票とともにアスリートサポートセンター窓口へ提出してください。
  - ②診断  
アスリートサポートセンターにて、ヒアリング、診断を行い、担当の先生の指示を受けてください。
  - ③再診の場合  
初診時に予約カードを作成しますので、次回の予約時間を記入し、先生のサインをもらう。再診時の受付も台帳に記入してもらうこと。

**開設時間** (月)～(金)17:00～20:00(申込みは19:00迄)

**場 所** 体育館・2F アスリートサポートセンター(コンディショニングルーム)

**費 用** 無料



アスリートサポートセンター  
(コンディショニングルーム)

## アスリート サポートセンター

学内の附属病院、附属鍼灸センターなどの専門医療機関と強化指定クラブの学生たちを指導・育成するコーチングスタッフおよびトレーナーが連携し、競技力向上をトータルサポートするトップアスリート育成組織。「予防・治療・リハビリ・復帰」のすべての過程を学内で一貫して行うことができる国内でも数少ない取り組みです。  
★学生トレーナー部の実習の場に活用、実践教育を実施

<p><b>■コンディショニングサポート</b></p> <p>選手本人だけでなく、練習日誌、コーチングスタッフ・トレーナーと連携してケガの予防～個々に応じたトレーニング量などのアドバイスも実施。</p>	<p><b>■競技力向上サポート</b></p> <p>練習などでの日常的な数値計測により、医学的な見地からの科学的な分析に基づいた競技力等の向上へのサポートを実施。</p>	<p><b>■メディカルサポート</b></p> <p>不調やケガの際の手当て、対処について日々の経過等に照らし、最善の処置判断、対応を実施。またよりよい状態での復帰へのサポートも行う。</p>
--	---	---

## トレーニングルームの機材が新しくなります

このたび、体育館1階トレーニングルーム内の機器が新しくなります。トレーニングルームを利用する場合は、本学(保健体育ユニット)が実施する利用講習会を受け、利用許可証の発行を受ける必要がありますのでご注意ください。

**利用時間** [平日]10:00～20:00 / [土・休祭日]9:30～17:30



## Schedule

<p><b>4</b> April</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●入学式</li> <li>●オリエンテーション</li> <li>●看護学部生対象 病院奨学金説明会</li> </ul>	<p><b>5</b> May</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護の日</li> <li>●葵祭</li> <li>●大学・学部見学会 (ミニオープンキャンパス)</li> </ul>	<p><b>6</b> June</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オープンキャンパス</li> <li>●全日本鍼灸学会 学術大会</li> </ul>	<p><b>7</b> July</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オープンキャンパス</li> <li>●前期末試験</li> <li>●キャリア教育講演会 (卒業生講演会)</li> <li>●祇園祭</li> </ul>	<p><b>8</b> August</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オープンキャンパス</li> <li>●夏季休暇</li> <li>●教育懇談会</li> </ul>	<p><b>9</b> September</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オープンキャンパス</li> <li>●合同就職相談会 (鍼灸学部・保健医療学部)</li> </ul>
---	---	--	--	--	--



# 明治国際医療大学

鍼灸学部[鍼灸学科] \* 保健医療学部[柔道整復学科] \* 看護学部[看護学科] \* 大学院[鍼灸学研究科]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189

E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より大学評価基準を満たしていると認定されました。

# 明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.12

大学情報誌



## 卒業おめでとうございます!

平成27年度卒業式・学位授与式が3月15日(火)に執り行われ、157名の学生達が新たな未来に向かって一歩踏み出しました。式典では学生全員に対して岩井学長より一人ひとり呼名のうえ、学位記が手渡され、心に残る卒業式になったことと思います。今後の皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。卒業式終了後は「京都ホテルオークラ」において、卒業記念パーティーが開催されました。4年間苦楽を共にした仲間や、お世話になった教職員の先生方と、楽しいひと時を過ごしました。

### 成績優秀者

- |  |   |
|--|---|
| <p>学長賞<br/>学長賞<br/>学長賞<br/>谷口健蔵賞<br/>全日本鍼灸学会会長表彰<br/>日本鍼灸師会賞<br/>日本柔道整復接骨医学会賞<br/>日本柔道整復師会会長賞<br/>日本私立看護系大学協会会長表彰<br/>京都府看護協会花束贈呈<br/>答辞</p> | <p>岡田裕美子(鍼灸学部)<br/>中村 智紀(保健医療学部)<br/>ラブロウ セーニヤ(看護学部)<br/>外村 宗達(大学院博士後期課程)<br/>加納 舞(鍼灸学部)<br/>曾山 成美(鍼灸学部)<br/>井田佑二郎(保健医療学部)<br/>古川 康之(保健医療学部)<br/>奥田 麻耶(看護学部)<br/>林 尚(看護学部)<br/>岡部 静(保健医療学部)</p> |
|--|---|





## 学校法人明治東洋医学院が創立90周年を迎えました!

学院創立90周年記念スポーツイベント①

### 『陸上競技(長距離)・トップアスリートセミナー』を開催

10月31日(土)に本学において、学院創立90周年記念スポーツイベント「陸上競技(長距離)・トップアスリートセミナー」を開催しました。第一部では、ワコール、グローバリー、シスメックスなど女子長距離界を牽引する陸上競技部監督を歴任された藤田信之氏による「日本の長距離界の現状について」をテーマにご講演いただき、271名の参加がありました。第二部では、ダイハツ陸上競技部の協力によるランニングクリニックが行われ、ダイハツ陸上競技部監督の林清司氏の指導のもと、参加者87名に対し、アップ方法やストレッチ法などのデモンストレーション等が行われました。また、前田彩里選手・松田瑞生選手・竹本香奈子選手と一緒にグラウンドをランニングして和やかな雰囲気参加者も大変満足しておられました。



学院創立90周年記念スポーツイベント②

### 『FIFA理事・公益財団法人日本サッカー協会副会長 田嶋幸三氏によるサッカー講演会』を開催

11月21日(土)にホテル京都エミナスにおいて、FIFA理事・公益財団法人日本サッカー協会副会長(現会長)に「世界を目指す日本サッカー」をテーマとしてご講演いただきました。当日は、高校生から一般の方まで合わせて244名にご来場いただき、田嶋氏の魅力ある講演に聞き入っておられました。質疑応答では多くの意見が寄せられ、1つ1つ丁寧に回答いただき、終始盛り上がりを見せました。

### 学院創立90周年記念シンポジウムを開催

11月23日(祝・月)にホテル京都エミナスにおいて、学院創立90周年記念シンポジウムが開催され、業界関係者をはじめ、学生、同窓生、教職員、一般の方など、約250名にご参加いただきました。本学岩井直躬学長の開会挨拶ののち、基調講演として「肩のスポーツ障害」と題して、信原病院・バイオメカニクス研究所 院長 信原克哉先生にご講演いただきました。一般講演では「スポーツ医療」について、鍼灸学部の伊藤和憲教授、保健医療学部の川村茂講師、「国際交流」について、明治東洋医学院専門学校鍼灸学科の宮本直先生、「地域スポーツ貢献」について、看護学部の佐藤裕見子教授、鍼灸学部の吉田行宏助教が講演され、その後、これら5題の講演を踏まえて、総合討論が行われました。



### みんなで楽しく! ツボ療法

1月26日(火)、本学において、60歳以上の南丹市民の皆様を対象に、「健康寿命をのばす養生と家庭でできるツボ治療」をテーマとして市民公開講座を開催いたしました。当日は約40名の参加があり、北小路鍼灸学部長の指導のもとツボ療法や、ロコモティブシンドローム(通称ロコモ)を防ぐ運動「ロコトレ」を実践!受講者の皆さんはメモを取りながら真剣に講演に聞き入っておられました。

※ロコモティブシンドロームとは、運動器の障害により要介護になるリスクが高まる状態になることをいいます。



### 小児外科学の国際賞

#### コー・メダル(Coe Medal)賞を岩井直躬学長が受賞

この度、韓国で開催された太平洋小児外科学会において小児外科学の分野で傑出した業績を挙げた研究者に贈られるコー・メダル賞に岩井直躬学長の受賞が決まりました。今回の受賞理由は、生まれて直ぐの赤ちゃんの内臓奇形で最も多い鎖肛の手術法開発や病態解明に成果を挙げたことによるものです。岩井学長は、前任の京都府立医科大学小児外科学教授として鎖肛の手術法開発や術後排便障害のリハビリ装置開発に取り組み、救命率の向上だけでなく術後の排便障害をきたさない治療成績向上に貢献しました。また病態を解明すべく、鎖肛のモデルマウス作成に成功し、胎児期に鎖肛が形成される課程を分子レベルで明らかにしました。これら一連の研究成果は米国の専門誌や世界の教科書に掲載されました。受賞講演および授賞式は平成28年4月に米国・ハワイで開催される太平洋小児外科学会にて行われます。



## 第38回 たには祭

10月17日(土)・18日(日)に第38回明治国際医療大学祭「たには祭」が開催されました。当日は天候に恵まれ、実行委員長の仮屋誠哉君(看護学部2年)の開会宣言に始まり、各イベントや学生達の屋台も大いに賑わっていました。今回のゲストは吉本興業の芸人さん(ミルクボーイさん、祇園さん)、園部吹奏楽団の皆様、地域のダンスチームBEAT BOXの皆様、ご当地アイドル「南丹娘」さんにお越しいただきました。また、例年大盛り上がるのK-1(カラオケ)グランプリは、過去最高参加者数で熾烈な優勝争いが繰り広げられ、大学院1年の道端悠馬君が見事優勝しました。



## 米メジャーリーグでトレーナーとして活躍する卒業生の講演会を開催

12月8日(火)に本学の姉妹校である明治東洋医学院専門学校卒業生の岡 克己先生と東田孝昭先生をお招きして「アメリカ大リーグと日本のプロ野球のトレーナーの違い」をテーマにご講演いただきました。岡 克己先生は、米メジャーリーグヒューストン・アストロズの球団トレーナーとしてご活躍されており、東田孝昭先生は東北楽天ゴールデンイーグルスのトレーナーを務められ、現在はメジャーリーグ岩隈久志投手のパーソナルトレーナーとしてご活躍されております。講演では、日本とアメリカの管理体制や施設の違いなど、スライドを見ながらお話いただき、学生から多数の質問に回答いただくフリートーク形式で行われました。また、現在まで各先生がどのようにキャリアを積まれたのか、将来に向かって大学在学中に何をすべきかをアドバイスいただき、学生が目標や夢の実現に向けて、モチベーションが上がる有意義な時間となりました。



岡 克己先生 東田 孝昭先生



参加者全員で記念撮影

### Pickup Club /

明治国際医療大学 強化指定クラブ

#### 陸上競技部 大健闘!

陸上競技部は8月28日(金)・29日(土)に、富山県で開催された『第72回全日本医歯獣医大学対抗陸上競技選手権大会』において、男子の部で総合優勝、女子の部で総合2位という成績を収めました。また、9月27日(日)に京都市で開催された『第22回関西医歯薬科学生対校陸上競技大会』において、男女共にフィールドの部で優勝という素晴らしい成績を収めました。



第72回全日本医歯獣医大学対抗陸上競技選手権大会後の記念撮影





## 新しい臨床実習施設のご紹介

本学は多くの附属治療所を有しており、学生に充実した実習を提供しています。実習を通して、学生は医療人としてのスキルとともに、人間としても大きく成長していきます。昨年7月、京都桂川イオンモール内にmythos361が開院しました。平成28年以降、新たな実習の場として、学生を受け入れる予定です。mythos361ならではの接遇や鍼灸治療について学ぶことができます。今回は、院長の伊藤先生に、mythos361がどんな施設なのか、お話を伺いました。

### 明治が手掛ける新感覚の鍼灸院

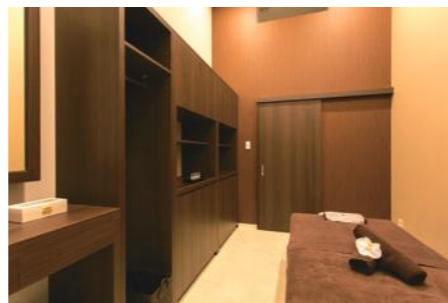
昨年7月に、京都桂川イオンモール内（JR桂川直結）に明治国際医療大学が手がける新感覚の鍼灸院「mythos361（ミュトス361）」が開院しました。mythos361は、美しく健康に生活していくための癒やしの空間（美・癒・健）をコンセプトとした新しいタイプの鍼灸院であり、今まで鍼灸治療を受けたことがない方にも、気軽に受け入れてもらえるように様々な新しい取り組みを行っています。

まず、女性の方にも気軽に寄って頂けるように、女性スタッフを多く配置し、外観や内装などを工夫することで、今までにない明るくオシャレな鍼灸院の雰囲気作りをおこなっています。また、来院の目的を治療だけに限定するのではなく、予防や美容、さらには季節に応じたコース（花粉症・風邪・夏バテ）など新しいスタイルを提案することで、鍼灸治療の可能性を一般の方々に紹介しています。

また気軽に利用して頂けるようにコースをマニュアル化することで、治療時間の短縮や料金の低価格化を目指しております。特に本鍼灸院は予防に力を入れていることから、鍼灸治療だけで終わらずに、ツボ押しやストレッチなどセルフケア指導に力を入れることで、利用者の方々に日頃から健康に興味を持って頂けるようなアドバイスをしております。さらに、仕事帰りやショッピングの合間などに気軽に鍼灸治療に親しんでもらえるように、イオンの営業と併せて年中無休としております。

### 新しい実践教育の場として

このように、mythos361は日常生活の一部に鍼灸治療を取り入れてもらい、新たなライフスタイルを提案する発信基地と考えています。また、今後は明治国際医療大学や姉妹校の明治東洋医学院専門学校の学生達の予防や美容など新しい医療に対応するための実践教育の場とし、また学生達の就職先としても活用していく方針です。今後「mythos361」が予防の最前線として、皆様のお役に立てるようにスタッフ一同努力して参りますので、京都にお越しの際には是非お寄りください。



明治国際医療大学京都桂川鍼灸院  
mythos361  
院長 伊藤 和憲

### 京都駅前鍼灸院がOPEN

平成27年7月18日に、明治国際医療大学附属鍼灸センターの分院として「京都駅前鍼灸院」を開院いたしました。スポーツ障害、パーキンソン病、自律神経疾患など、多様な専門外来があり、さまざまな症状・疾病の治療・緩和から、健康の維持・増進まで幅広いニーズに応えることを目標としています。京都駅前鍼灸院でも、学生の臨床実習を予定しています。

詳細および治療予約についてはHPをご覧ください

ミュトス361 <http://mythos361.meiji-u.ac.jp/>  
京都駅前鍼灸院 [http://www.meiji-u.ac.jp/kyoto\\_ekimae/](http://www.meiji-u.ac.jp/kyoto_ekimae/)

## いざ実践現場&自分の学びを深める

保健医療学部では、3年次から病院やスポーツ現場での実習が始まります。スポーツ実習ではサッカーリーグやマラソン大会、スキー場など様々な場所での応急処置やケア活動を行います。後期には自分の興味を追究するための卒業研究が始まります。今回は、スキー場での応急処置実習とトレーナー部の活動についてご紹介します。

### スポーツ外傷応急処置実習(スキー場実習)

スキー場（兵庫県神鍋高原 万場スキー場）の協力を得て、スキー場横にブースを設置し、スキーやスノーボードで受傷された患者さんに対して保健医療学部の教員が治療・施術を行います。学生は、実際にそれらの患者さんに問診、治療・施術の補助を行っていただきます。宿泊先では、その日に遭遇した傷害に対して、教員と学生でカンファレンスをして、実習終了後、レポートを完成する流れとなります。



スキー場の実習施設



ブース内での実習風景



夕食後、宿舎でカンファレンスを実施



### トレーナー部の活動を紹介

本学では、医療的なサポート支援の提供および医療技術知識の教授によって最先端の「スポーツ医療人」の育成をスタートすべく、「スポーツ振興プロジェクト」を開始いたしました。それに伴い、アスリートのケアを通じて実践的な治療家をめざす「トレーナー部」が2015年度から活動を開始いたしました。普段の活動拠点は、体育館に併設されたコンディショニングルーム内ですが、学外での活動も積極的に行っています。

### Interview /



こんにちは！保健医療学部1年の山田です。10月に開催された90周年記念イベントのマラソン教室にてトレーナー部でケアブースを設置し、参加された方々のケアにあたりました。トレーナー部では学年に関係なく、こういった活動に積極的に参加しています。また、ただ勉強しているだけだとこの知識がどこにつながっていくのかイメージしづらいですが、今回のような活動をしているとそういったところが見えてくるので現場を意識できますし、より勉強が楽しくなります。それはこのクラブならではの強みだと思います。これからの活動が楽しみです。

トレーナー部 保健医療学部1年生 山田 秋生くん



# 大学での学習・実習風景

## 基礎看護学援助論

ナースとしての一歩を踏み出した  
と思えた瞬間!



1 学年 >>



## 講義風景

先生に「教えてもらう」だけでなく、自分達で  
「探求する楽しさ」を学びました。



<< 2 学年

## 精神看護学実習

レクリエーションを通して、患者と心の  
交流をはかりました。



## 母性看護学実習

専門的知識を習熟することは  
大変だけど、仲間と一緒にだから  
乗り越えられました。



3 学年 >>



## 親睦会

看護の夢を語りながら、4年間の苦楽を共に  
してきた仲間達は最高!



## HIV啓発活動

「まゆまる」と一緒に、HIVへの  
正しい知識と理解を広げること  
が出来ました。

<< 4 学年

# 入学前教育、始めました

## 大学の「学修」に、順応するために

春は大学にとって別れと出会いの時期です。国家試験に合格して医療人となった4年生が卒業し、新たな入学生を迎え入れます。卒業する皆さんは4年という短い期間で医療人となるために、膨大な医学知識を習得しました。次は新たな入学生の方々が医学知識の習得にチャレンジすることになります。

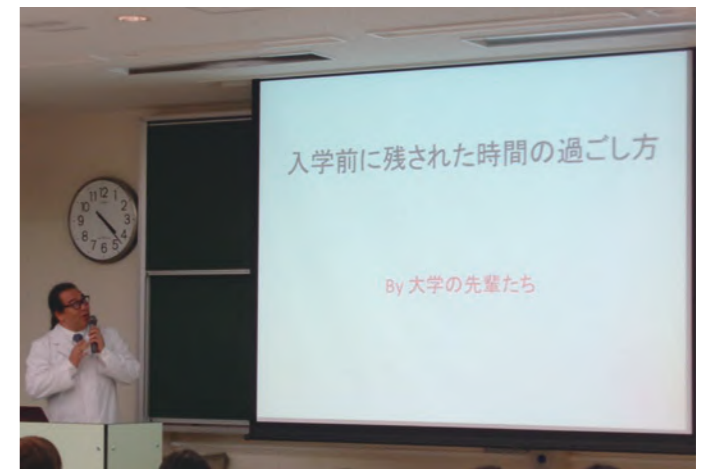
大学での「学修」は、高校までの「学習」とは異なる点が多くあります。高校までと比べると、質、量ともに段違いです。その違いの大きさに、ほとんどの入学生はとまどいを覚えます。講義のスピードは早く、内容は高度に専門的なうえ、膨大な量です。このため講義ごとに自学自習(主に復習)を行う必要が生じます。自学自習の習慣を身につけることが、新入生にとっての第1のハードルです。

第2のハードルは苦手科目です。高校での苦手科目は、大学ではさらに大きな壁となって立ちどころです。教員が一丸となって学生の苦手科目を克服するため指導に努めていますが、もっと早い時期に克服できていれば・・・と考えることもしばしばあります。

これらのハードルを克服するため、来年度入学予定者を対象とした入学前教育を始めました。大学での学修の心構えを早い段階で身につけるとともに、苦手科目の強化を目的としています。4月に入学される新入生のうち、約80名が参加しました。今後もさらなる学修サポートに注力します。



大学講義の特徴を説明しました



鳴瀬教授の講義



入り口の看板



保護者の方々と懇談させていただきました